

ゴールデンパス

アフターコロナの世界を開く

The Golden Path

どうすることもできない試練。人生をつぶしかねない重荷。その重圧の中に最善の光り輝く道——
ゴールデンパス(Golden Path)を開くことができる。

2021

高橋佳子講演会

「主催」高橋佳子講演会実行委員会 <https://www.keikotakahashi-lecture.jp/> (TEL 03-5828-1587)

10月31日 日 GLA中京会館 ほか
11月7日 日 パシフィコ横浜国立大ホール ほか
11月14日 日 GLA近畿会館 ほか
11月21日 日 映像の集い 詳細は裏面をご覧ください

10万部突破!!



『ゴールデンパス——絶体絶命の中に開かれる奇跡の道』高橋佳子著

2021 高橋佳子講演会

高橋佳子先生の本を読んだ方々の「ぜひ著者の講演を聞きたい」という声に応じて、
1992年に始まった「高橋佳子講演会」――。

以来、毎年、新たなテーマで、全国主要都市及び海外でも開催され、
これまで延べ150万人が参加しています。

講演者プロフィール

高橋佳子 (たかはし・けいこ)

現代社会が抱える様々な課題の根本に、人間が永遠の生命としての「魂の原点」を見失った存在の空洞化があると説き、その原点回復を導く新たな人間観・世界観を「魂の学」として集成。誰もが、日々の生活の中でその道を歩めるように、実践の原則と手法を体系化している。現在、「魂の学」の実践団体GLAを主宰し、講義や個人指導は年間300回以上に及ぶ。あらゆる世代・職業の人々の人生に寄り添い、導くとともに、日本と世界の未来を見すえて、経営・医療・教育・法務・芸術など、様々

な分野の専門家への指導にもあたる。魂の次元から現実の問題を捉える卓越した対話指導は、まさに「人生と仕事の総合コンサルタント」として、各方面から絶大な信頼が寄せられている。1992年から一般に向けて各地で開催する講演会には、これまでに延べ150万人が参加。主著に『ゴールデンパス』『自分を知る力』『最高の人生のつくり方』『あなたがそこで生きる理由』『運命の逆転』『未来は変えられる!』『1億総自己ベストの時代』『魂の冒険』『新・祈りのみち』(以上、三宝出版)ほか多数。

■ 開場予定 12:00 開演 13:00 終了予定 16:00

開催日	開催場所	問い合わせ先
10/31日	GLA東北会館(仙台)	022-748-4586
11/7日	GLA東北会館(仙台) 山形ビッグウイング2階交流プラザ 弘前総合学習センター <small>※このほかの開催会場はお問い合わせください。</small>	
11/14日	GLA東北会館(仙台) ニューカリーナ(盛岡) なの花ホール2階会議室(庄内) プレミア比内商工会魏所(大館) <small>※このほかの開催会場はお問い合わせください。</small>	
11/21日	GLA東北会館(仙台) <small>※このほかの開催会場はお問い合わせください。</small>	

- 上記のほか、全国各地の会場で開催されます。高橋佳子講演会公式ホームページ、または主催団体のホームページでご確認ください。
 - 入場整理券(3,000円)のお求めなど、詳細は、高橋佳子講演会実行委員会(Tel.03-5828-1587)もしくは上記の問い合わせ先にご連絡ください。
 - 講演会には、どなたでもご参加いただけます。高橋佳子講演会公式HP <https://www.keikotakahashi-lecture.jp>からお申し込みください。
- ※ただし、GLAの会員の方は、下記のいずれかのサイトからの申し込みをお願いします。
 会員のご紹介で参加される皆様も、会員の方を通して、下記からお申し込みください。
 ・携帯入力サイト <http://www.gla.jp/g/> ・会員ホームページ <https://member.gla.or.jp/>



安心の感染症対策



参加者、スタッフとも、問診票への取り組み、入館時の靴底消毒や手指の消毒のほか、「5つの行い」(①手洗い、②マスク、③換気、④検温、⑤喉を潤す、加湿)、「3つの戒め」(「密閉」「密集」「密接」という3つの「密」を避けること)を徹底しています。



初参加者のお声

すべてに意味があるのだから、嫌なことや苦しいことにも挑戦してゆきたい。そのために「自分が変わりたい」と思いました。(10代男性)

「魂の学」には、様々な問題を解決し、試練を乗り越える力があると感じました。(20代女性・海外)

実践例をお聴きして、これからの自分の新しい道を探しているところなので、自分を振り返るよい機会になりました。(40代女性)

人生を深く考える機会を頂きました。「新しい自分」を知ることによりよい人生を生きられることがわかりました。(50代男性)